

油山市民の森&油山牧場リニューアルプラン（案）への  
意見及び対応について

## 市民意見要旨と意見への対応

リニューアルプランにおける「市民意見要旨」と「意見への対応と考え方」についてまとめます。

### 凡例

#### 【意見への対応と考え方】

- 修正あり : 意見趣旨に基づいて、原案を修正するもの
- 原案どおり : 原案の修正がないもの
- 記載あり : 意見趣旨が原案に記載されているもの
- ◇その他 : プランに関わらず個別の取組み等への要望・提案など

番号	意見要旨	対応方針	対応
<b>1 はじめに 1件</b>			
1	油山市民の森のキャンプ場は、ブームに乗るのではなく、SDGS等自然体験を学べる場にすることを提案する。	○記載あり	リニューアブルプラン(案)は、1(1)リニューアブルプランの位置づけに記載のとおり、SDGSの視点を踏まえ検討しています。 ご意見については、公募要綱等の参考とさせていただきますとともに、現在の指定管理運営に対するご意見として、参考とさせていただきます。
<b>2 現状と課題 16件</b>			
2	「自然観察の森」を施設として明確に位置付けてほしい。	◇その他	油山市民の森条例においては、「自然観察の森」も含めて「油山市民の森」となっており、2(2)油山市民の森の現状の地図中に記載しております。
3	自然観察センターがボランティアの活動拠点となっていることを記載してほしい。	○原案どおり	自然観察センターについては、市民ボランティアを含め、広く市民の皆様が利用できる施設となっております。また、ボランティアについては、引き続き活動支援に取り組んでまいります。
4	障がい者にも配慮した施設改修をしてほしい。	◇その他	リニューアルにあたっては、可能な限り、バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に努めてまいります。
5	高齢者等のために駐車場から中央広場までの急な坂にスロープカーを設置してほしい。		
6	車を持っていない高齢者のためにも臨時バスを土曜日も運行してほしい。	■修正あり	両施設への交通アクセス手段として8割超が自動車となっていることを踏まえ、2(5)課題に利用者の交通手段の現状を追記しています。 なお、バスの増便等、公共交通のアクセス強化は重要と考えており、公共交通の維持・充実に向けて、交通事業者と協議を行ってまいります。  <追記内容> 利用者の交通手段 春から秋にかけて臨時バスがあるものの、利用者の8割以上が自動車での来場となっている。 ※福大正門前から市民の森・牧場間で臨時バスが一日6往復運行中(3月～11月の日祝日)
7	車を持っていない人向けにバスの通年運行や増便を行ってほしい。		
8	車ありきではなく、公共交通アクセスの拡充が必要である。		
9	車いすでも来られるようにノンステップバスを運行してほしい。		
10	キャラクターを付けたバスを導入するなど、油山へ行く道中を楽しいものにしてほしい。		
11	都心から直接臨時バスを出してほしい。		
12	高齢者や障がい者のため、冬季と土曜日のバスの運行をしてほしい。		
13	交通アクセスとして山にケーブルカーを設置してほしい。		
14	油山ふもとまで地下鉄を通してほしい。		
15	駐車場の台数を増やすよりも、バスの増便を検討してほしい。		
16	東京の高尾山のように交通アクセス利便性を向上させ、福岡市のシンボルマウンテンにする。	◇その他	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
17	自然環境保護と公共交通機関利用促進の観点から、駐車料金を値上げし、その収入の用途を掲示することを提案する。		

番号	意見要旨	対応方針	対応
<b>3 リニューアルの基本的な考え方 61件</b>			
18	リニューアル事業はぜひ進めてほしい。	◇その他	油山市民の森及び油山牧場について、さらに魅力ある施設となるよう、リニューアル事業に取り組んでまいります。
19	園芸公園と一体となった利用を考えてほしい。		
20	自然を感じたい人は自然の森へ、営利追及は牧場へと分けて検討してほしい。	◇その他	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
21	SDGsの視点を踏まえ、生物多様性の保全について記載が必要である。	■修正あり	<p>リニューアルプラン(案)は、市農林業総合計画やSDGsの視点を踏まえ検討していることから、3(2)リニューアルのコンセプト等に「多様な生物の生息空間」であることや、それらの資源を「保全する」ことを明記することとし、以下のとおり修正します。</p> <p>&lt;修正前&gt;  (前略)油山市民の森及び油山牧場は、都心からほど近くにありながら緑豊かな自然環境や市街地を見渡せる眺望などの資源を有しています。これらの資源をさらに活かすとともに</p> <p>&lt;修正後&gt;  (前略)油山市民の森及び油山牧場は、都心からほど近くにありながら緑豊かな自然環境や多様な生物の生息空間、市街地を見渡せる眺望などの資源を有しています。これらの資源を保全、活用するとともに</p>
22	福岡市の上位の計画と整合性を持たせ、生物の多様性について学ぶ場としてほしい。		
23	生物多様性、持続可能な開発の観点が必要である。		
24	自然体験を通じた環境を考える場にした方が良い。リゾート的施設は不要である。		
25	事業実施前に、植生や動植物についての現状と課題を整理しておくべきである。		
26	市民の森は希少生物も多数生息しており、生物多様性の保全や学習に最適な場所である。環境問題への取り組みをコンセプトに加えるべきである。		
27	自然環境保全や有害野生生物の抑制をリニューアルのコンセプト等に記載すべき。		
28	車両乗り入れやグランピングは自然破壊であり利益追求ばかりをすべきではない。		
29	トレイルランニング、マウンテンバイク、電動キックボード、イルミネーション等、自然破壊につながるようなことはやめてほしい。		
<b>○自然環境の保全・再生</b>			
30	自然環境の保全・再生の取り組みとして、市民参加の植樹を提案する。	○原案どおり	<p>3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取り組みの「自然環境の保全・再生」は導入を求める機能の例を示したものです。ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。</p> <p>また、ボランティアについては、引き続き活動支援に取り組んでまいります。</p>
31	ボランティア団体と連携した里山保全活動等の取り組みを提案する。		
32	市民の森で活動しているボランティアが現在の活動が継続できるようにしてほしい。 ・駐車場利用料の免除、ボランティアルーム、倉庫の利用 ・ボランティアが管理している区域は、ボランティアの意向を尊重してほしい。		
33	市民の森のボランティア団体「ヤマガラの会」と意見交換を行い、野鳥の生息環境を充実させる施策を考えてほしい。		

番号	意見要旨	対応方針	対応
34	レジャーランド化のために必要以上に樹木の伐採をしないでほしい。	■修正あり	<p>10頁に記載の「自然環境の保全・再生」の取組みの具体例が適切でなかったため、森林環境の保全等に取り組む旨を新たに追記します。</p> <p>また、従前、具体例に記載していた「散策路やベンチ等休憩施設の整備」や「イルミネーションやアウトドアイベントの誘致」に関する内容は、11頁の「森林や牧場の強みを活かした体験価値の提供」に移記することとします。</p> <p>なお、「イルミネーション」は光害を懸念する意見を踏まえ、「ライトアップ」に変更します。</p> <p>事業者の提案内容の実施に際しては、自然環境の保全に十分配慮しながら、取組みを進めてまいります。</p> <p>&lt;10頁追記&gt;  ・森林の保全再生  ○荒廃した森林の適切な間伐等の管理を行い、良好な森林環境の保全・再生に取り組む。</p> <p>&lt;10頁→11頁へ修正の上、移記する内容&gt;  ・自然体験(森林体験)  ○散策路やベンチ等休憩施設を整備し、誰もが気軽に親しめる森林づくりを推進する  ○自然を活かしたライトアップやアウトドアイベントの誘致など利用度が低い時期における森林の活用を図る</p> <p>自然環境の保全は重要な取組みであることから、4(4)①管理運営業務にその旨を追記することとします。</p> <p>&lt;修正前&gt;  ・油山市民の森と油山牧場の管理運営を民間事業者が行います。基本的に現在の機能を引き続き維持します。</p> <p>&lt;修正後&gt;  ・油山市民の森と油山牧場の管理運営については、基本的に現在の機能を引き続き維持することとしており、施設全体の維持、保守管理等の他、自然環境の保全等に必要となる事項を実施します。</p>
35	「イルミネーション」や「アウトドアイベントの誘致」は自然環境の保全・再生ではないため、項目の整理が必要である。		
36	イルミネーションは自然環境の保全ではなく、自然を感じてもらう場にはそぐわないと感じる。		
37	昆虫が、イルミネーションに追突して個体数を減らさないよう専門家の意見を聞くべきである。		
38	「散策路やベンチ等休憩施設の整備」「イルミネーションやアウトドアイベントの誘致」は、自然環境の保全・再生に該当しない。		
39	イルミネーションは光害になるので焚火のような灯りにした方がよい。		
40	園内の開発が先行して、環境・自然保護の言葉が見当たらない。 利益優先の開発・運営になる事を懸念している。油山は市民の森であり、都心部に最も近いロケーションのため、環境破壊を起こさないようにしてほしい。		
<b>○既存施設の再整備</b>			
41	脱プラスチック、脱食品ロス掲げるとともに、環境に配慮したカフェを作ってほしい。	○原案どおり	<p>3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取組みの「既存施設の再整備」は導入を求める機能の例を示したものです。 ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
42	飲食・物販は、利用者の増加を見込める重要な項目であり、整備してほしい。		
43	インスタでフォロワーが多いキッチンカーや人気のカフェを入れてほしい。		
44	市民の森に通う人々の中に、カメラを携えて撮影を楽しむ人が多い。カフェを併設したフォトサロンを開設し、撮影技術や撮影スポット等の情報交換ができる場所を作ってほしい。		
<b>○油山の価値向上の推進</b>			
45	足腰が弱い方が景色を楽しみながら移動できるように、トウトウクのような巡回する乗り物がほしい。	○原案どおり	<p>3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取組みの「油山の価値向上の推進」は導入を求める機能の例を示したものです。 巡回バスや小型モビリティ等の導入にあたっては、注意喚起のサイン表示や低速での走行を義務付けるなど、安全を最優先に検討してまいります。 ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
46	若い世代向けに、セグウェイや電動ボード等があると良い。		
47	両施設の回遊性の向上は、通行する歩行者への安全・安心の確保が必要である。現行の臨時バスと管理部署での安全見回り・作業等での車両程度に抑えるべき。		
48	巡回バスは良いが、電動キックボード等の導入は歩行者との接触、坂道等での転倒など安全性が危惧されるため、不要である。		
49	周回路は歩行者が多い場所であり、一般の人が運転する電動キックボード等の小型モビリティを入れることは危険であり、巡回バスだけにすべきである。		
50	キックボード等のアクティビティは別の安全な場所で実施した方がよい。		

番号	意見要旨	対応方針	対応
<b>○森林や牧場の強みを活かした体験価値の提供</b>			
51	森林アスレチック等が市民の森の事業としてふさわしいのか慎重に検討すべきである。利用料が高くなり、市民が気軽に利用できなくなる心配がある。	○原案どおり	3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取組みの「森林や牧場を活かした体験価値の提供」は導入を求める機能の例を示したものです。 リニューアル後も、引き続き指定管理者制度のもと運営することとしており、利用料金については、市民が利用しやすい料金体系となるよう努めてまいります。 ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。
52	油山牧場の広さを活用して音楽イベント等を実施できる場所を作ってほしい。	○原案どおり	3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取組みの「森林や牧場を活かした体験価値の提供」は導入を求める機能の例を示したものです。 民間事業者の提案内容の実施に際しては、自然環境の保全に十分配慮しながら、取組みを進めてまいります。 ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。
53	アウトドアイベントに際し、更衣室やコインロッカー、足洗い場などを作ってほしい。		
54	身近な自然を活用した、他にない体験が気軽にできる魅力ある施設にしてほしい。 自然を活用したボルダリング、沢登り、マウンテンバイク、サバゲー場、プロジェクションマッピング、ICTを活用した自然体験など、ここでしか出来ないものがほしい。		
55	音楽、天体観測、アウトドア等のイベントやドッグランがほしい。		
56	油山牧場で、トランポリン、学生の吹奏楽大会、サッカー等のイベントを開催することを提案する。また、広場には車の屋台(キッチンカー)を持ってくることを提案する。		
57	森林アクティビティ等の導入にあたっては自然観察センターの貴重な動植物等の資料を参考に慎重に場所選びをしてほしい。		
58	森林アスレチックなどのアクティビティは、森林の自然環境保護の観点から、観察路から離れた場所に設置してほしい。(牧場の眺めの良い場所に設置する方が、市の上空を飛ぶような感じで気持ち良いのではないか。)		
59	油山は様々な野鳥が生息する素晴らしい場所である。アクティビティやグランピング等の設置場所や規模等は、慎重に検討してほしい。場合によっては一部計画の見直しも含め環境アセスメントしてほしい。		
60	立地的にも広くて平らな場所が少なく、オートキャンプやグランピングには不向きである。		
61	市民の森は水遊び等もできるので、バンガロー等がリニューアルされればもっと利用が増える。五ヶ山のキャンプ場のように、アウトドアのプロによる、手ぶらキャンプや宿泊と自然体験がセットになったプランをつくってほしい。		
62	オートキャンプやグランピング等の導入は、明かりや大音量の音楽等で野生動物が逃げ、動植物の生態系を破壊する。キャンプとは夜の暗さや虫や鳥の声を体感できるようにするべきであり、車や電気を持ち込む必要があるのか。		

番号	意見要旨	対応方針	対応
<b>○新たなワークスタイルの提案</b>			
63	リモートワーキングスペースを作るのであれば、wi-fi等通信設備が必要である。	○原案どおり	3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取組みの「新たなワークスタイルの提案」は導入を求める機能の例を示したものです。 ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。
<b>○環境教育の推進</b>			
64	自然体験、環境教育はこれからの時代にますます重要になるので、しっかり進めるべき。	○原案どおり	3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取組みの「環境教育の推進」は導入を求める機能の例を示したものです。 ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。
65	企業のCSR活動や社内研修の支援はとても良い取り組みである。以前、自然観察センターでの社員研修は大変好評だったため数年間継続して実施された。		
66	子供が環境を意識できるような大気汚染数値の比較表示等の展望台施設を作してほしい。		
67	グランピング等よりは里山造りをしてほしい。あるいは震災時等に生きる生活能力を培う体験学習ができる施設にしてほしい。油山で炭作りはとても良い取り組みである。		
68	油山はイルミネーションよりも自然の在り方を子供達に伝えられる場所としてほしい。		
69	環境教育の充実のために博物館学芸員資格を持ったスタッフを配置すべき。	○原案どおり	3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取組みの「環境教育の推進」は導入を求める機能の例を示したものです。 自然観察センターは、引き続き現在の機能を維持することとしていますが、具体の運営方法については、事業者の提案を踏まえながら検討してまいります。 ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。
70	環境教育に「博物展示施設の充実」「自然環境調査の推進」も入れてほしい。 現在、自然観察センターで様々な展示が行われており、九大や市民等と協力した自然環境調査が行われている。このような取り組みを充実することで他の施設との差別化を図ることもできる。		
71	現在の牧場の資料展示館に自然観察センターの展示機能を移転、充実することで環境教育の推進と集客に貢献することができる。		
<b>○自然体験を通じた心身の健康の増進</b>			
72	有効活用できていないエリアのアクセスが良い樹林地には、トレイルランニングのコース整備など、自然への負荷が少ない開発を提案する。	○原案どおり	3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取組みの「自然体験を通じた心身の健康の増進」は導入を求める機能の例を示したものです。 なお、事業者の提案内容の実施に際しては、自然環境の保全に十分配慮しながら、取組みを進めてまいります。 ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。
73	市民の森でランナー向けのランニングコースやシャワー施設等を作してほしい。		
74	登山者のためのシャワー施設や入浴施設を作してほしい。		
75	油山でマラソン大会を企画してほしい。		
<b>○農林畜産業の振興</b>			
76	両施設の間に農園を導入し、地産地消・循環型社会づくりを学ぶ場として活用してほしい。	○原案どおり	3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取組みの「農林畜産業の振興」は導入を求める機能の例を示したものです。 ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。
77	地産地消として市民の森の伐採樹木でマキ販売をしてほしい。薪ストーブ愛好者等にニーズがあると考えられる。		
<b>○農林畜産業への理解の促進</b>			
78	農林業に興味をもってもらうきっかけとして、市民ボランティアの農林業体験が重要。	○原案どおり	3(3)コンセプトの実現に向けた3つの取組みの「農林畜産業への理解の促進」は導入を求める機能の例を示したものです。 ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。

番号	意見要旨	対応方針	対応
<b>4 事業スキームの方向性 58件</b>			
<b>(1)民間活力導入の考え方</b>			
79	既存ストックの再整備について賛成である。		
80	油山の主たる場所を明確にして、それ以外の場所の既存施設は廃止等、維持コストの低減を図るべき。		
81	市民の森管理事務所や自然観察センターは築30～50年を経過しているため廃止した方がよい。		
82	市民の森管理事務所の機能は牧場の管理事務所に集約し、自然観察センターの機能は牧場の資料展示館に集約した方がよい。		ご意見を踏まえ、4(1)民間活力導入の考え方の箇所に、業務の効率化や既存施設の有効活用の観点を踏まえる旨追記しました。
83	牧場を主たる場所にして、市民の森側は必要最低限の管理を行うこととして維持管理コストの低減を図るべきである。	■修正あり	<p>&lt;修正前&gt;</p> <p>・油山市民の森及び油山牧場のリニューアルにあたっては、両施設を一体運営することとし、先行して実施する既存施設等リニューアル事業と指定管理事業について、民間事業者の提案を求めます。</p> <p>&lt;修正後&gt;</p> <p>・油山市民の森及び油山牧場のリニューアルにあたっては、<u>市民サービスの向上とともに業務の効率化や既存施設の有効活用の観点を踏まえることとし、両施設を一体運営することを前提に、「既存施設等リニューアル事業」と「指定管理事業」について、民間事業者の提案を求めます。</u></p>
84	施設が二つあるため経費がかさむ。ブランディングの上でも一つの施設に統合すべき。		
85	巡回バス等は利用者が少なかった場合、維持管理コストが大きな負担になる。両施設を活かすよりも、主たる場所を1つにして集客施設を集約した方が効率的であり、事業者も事業を行いやすい。		
86	「既存施設の建替・改修」には、「市民の森管理事務所と牧場管理事務所の統合」「自然観察センターと牧場資料展示館の統合」を入れ、管理コストの低減を図るべき。		
87	多様な生活の中から望まれる流行対応を行政がすべきではなく、維持管理費縮減にも配慮しつつ民間活力導入を考えるのは行政らしい方策である。		
88	市民の森と牧場の本来の目的と姿を維持しつつ、立地条件を踏まえた魅力を増進し、事業性を確保するためには、油山独自の民間の視点に立った指定管理の仕様が必要である。SDGsは民間と行政が対等になって、初めて動き、結果が出るものである。	◇その他	民間事業者へのヒアリング等を踏まえ、リニューアル事業の効果を最大限発揮できるよう、指定管理の内容や公募条件等の検討を進めてまいります。
<b>(2)事業分担及び費用負担の考え方</b>			
89	指定管理者制度は使用料金制、利用料金制のいずれの方法を導入するのか、明確にしてほしい。	◇その他	利用料金制を前提に検討しており、公募時に明記します。
90	民間に委託さえすれば人が集まり、うまくいくという発想ではなく、公共財である市民の森を適切に利用・管理していく仕組みを作ってほしい。	◇その他	民間活力の導入に際しては、指定管理者制度を活用することとしており、適切に対応してまいります。
<b>(3)既存施設等リニューアル事業の内容</b>			
<b>①基盤・インフラ施設整備</b>			
91	感染症対策を考慮した施設整備が必要である。	■修正あり	4(3)①基盤・インフラ施設整備の項目に、安全安心の観点から、「感染症対策」の文言を追記することとします。
92	感染症対策としても、市民の森のトイレをもっときれいなものに改修してほしい。		トイレのリニューアルにあたっては、非接触型水栓の導入等を予定しています。
93	牧場の遊具広場にトイレが全くない。遊びに夢中になっている子供は我慢することができないので、近くに設置してほしい。	■修正あり	牧場の遊具広場近くにトイレを新設することとしています。4(3)①基盤・インフラ施設整備の項目にトイレの概ねの設置場所を追記することとします。
94	トイレの改修や老朽化した施設の建て替えについては良いことである。特にトイレは身障者も使用できるように改善してほしい。	○記載あり	4(3)①基盤・インフラ施設整備に記載のとおり、バリアフリーに対応することとしております。
95	トイレの洋式化、木造、木質化に賛成である。水洗になれば更に良い。	○記載あり	4(3)①基盤・インフラ施設整備に記載のとおり、洋式化、木造・木質化を図ることとしております。



番号	意見要旨	対応方針	対応
96	キャンプ場の近くに駐車場があると、特に夏場の暑い時期は大変ありがたい。		
97	敷地が広いので、バリアフリーの点からもキャンプ場近くに台数は多くなくても良いので、駐車場は必要と考える。		
98	オートキャンプ場への車乗り入れは、散策者にとって危険である。実施するのであれば、完全な歩車分離策をしてほしい。		
99	キャンプ場への車乗入れについて、園内は道路が狭いので、車両を乗入れると、車いすや足の悪い人たを追い出すことになる。また、子供への危険性もある。		
100	自然を楽しみながら、体を使うリヤカー利用は、キャンプ場等を利用する子供達のために廃止すべきでない。		
101	車の乗入れや離合場所等の整備より、リヤカーを油山の売りにしてほしい。		
102	子供が親と一緒にリヤカーを引くことを喜んでいる姿をよく見る。リヤカーを引く長い道のりは、決して不便だけではなく、子供にとっては楽しい体験である。		
103	キャンプ場利用者のために市民の森園内の周回路に一般車両を乗入れさせることは、歩行者は車の通らない園路として認識しているので、とても危険である。		
104	キャンプ場利用者の車が市民の森園内の周回路に乗入れる計画は疑問である。巡回バスがあるため、途中で通行止めにはできない。安全上、環境上問題ではないか。		
105	キャンプ場利用者の車が市民の森園内の周回路に乗入れることは事故などの危険性、騒音、排ガスなどによる環境悪化が懸念される。車を持たない人や身障者にとってメリットが無い。	○原案どおり	市民の森のキャンプ場については、駐車場が遠いなど市民ニーズとの乖離があることから、キャンプ場に近い場所に駐車場の整備を行うこととしております。 キャンプ場への車両乗入れは、キャンプ場に近い、牧場側から入ることとしており、キャンプ場から市民の森駐車場に続く周回路に車両を入れる予定はしていません。 車両乗入れに際しては、注意喚起のサイン表示や低速での走行を義務付けるなど、安全を最優先に事業者とともに検討してまいります。
106	キャンプ場利用者の車が市民の森園内の周回路に乗入れることについて、通路が狭く安全上の課題がある。また、騒音や排気ガス等による自然環境への悪影響が考えらる。		
107	春から秋の日曜日に運行している臨時バスでも歩行者はバスを気にしながら歩いている状況であり、制限速度を設けても安全を守るのが難しい場合があるため、キャンプ場付近の駐車場新設の取りやめてほしい。		
108	キャンプ場に駐車場の設置するよりも、管理者による小型モビリティなどの方法で、利便性を図ってほしい。森林の中のキャンプ場に車を乗りつけることがSDGsの考えに沿ったものとは思えない。		
109	キャンプ場への一般車両乗入れは、自然観察、散策等の通行などの妨げになる。油山市民の森の最大の魅力は、自然の中を安心してゆっくり散策できる事にある。全体の利用者に対して少数のキャンプ場利用者のために、この周回路の利用目的を妨げるのは大変もったいない。		
110	巡回バスや作業車などは、周回路の利用者の動きを理解しており、歩行者もお互い配慮できているが、キャンプ場の車は、道具を満載して後方が見えにくく、事故の心配がある。		
111	豊かな自然を感じながらの散歩は認知症やうつ病の予防等様々な効果がある。また、キャンプ場ヘリヤカーを引く親子連れはとても楽しそうでいい思い出になっている。市民の森園内の周回路は誰もが安心して歩ける場所であってほしい。		
112	モーモーランドについて、山を出来るだけ開発して駐車場を東西南北広げて作ってほしい。	○原案どおり	牧場側に駐車場を約150台程度拡張することとしておりますが、現在の自然環境に配慮し、樹木等の伐採や土工事が最小限となるよう計画しています。
113	園内巡回バスは無料にしないとゲート横の入口駐車場が利用されない。	○原案どおり	市民の森入口駐車場を有効活用できるように巡回バスを運行することとしていますが、事業者の提案を踏まえ、具体の検討を進めてまいります。

番号	意見要旨	対応方針	対応
114	市民の森と牧場の利用目的が異なることから、巡回バスの運行は疑問である。	○原案どおり	市民の森と牧場の両施設の回遊性向上のため巡回バスを運行することとしていますが、具体的には事業者の提案を踏まえながら、効果的・効率的な運行について検討を進めてまいります。
115	来園者に情報と安心が得られるため、市民の森の入り口に引き続き人員の配置を継続してほしい。	○原案どおり	駐車場ゲートの機械化については、業務の効率化の観点から整備を予定しております。
116	牧場側の入口は、冬季凍結時利用できなくなることがあるため、市民の森側の入口は引き続き必要である。	○原案どおり	市民の森側の入口は、引き続き利用することとしています。
117	車両離合場所の整備工事は土砂崩れを引き起こす可能性があるため、慎重に検討してほしい。90年代に市民の森内の道路の拡幅工事が行われたが、それによって土砂崩れが多くなったという経緯がある。	○原案どおり	車両のすれ違い場所については、車両乗入れに際し、安全確保するために整備を予定しております。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
118	過去の拡幅、舗装化で利用者は増加したのか疑問であり、離合場所の整備は不要と考える。		
119	遊歩道の補修について、柏原から上るルート(水の森)の橋が台風で壊れたままなので景観に配慮した人工的過ぎない川を渡る道を作ってほしい。	◇その他	現地を確認して補修等の対応を検討をします。
120	園芸公園から市民の森へつづく林道及び林道添いの樹林を整備してほしい。	◇その他	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
121	市民の森と油山牧場の回遊性を高めるために、園路のさらなる充実が必要。 歩いて楽しむことができ、園路を散策すること自体がアクティビティとなるよう、歩行や小型モビリティ等で移動しやすい園路の整備が必要。	◇その他	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
122	再エネを導入してこの施設内の電力の自給自足することを提案する。	◇その他	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
<b>②既存施設の建替・改修</b>			
123	老朽化した施設の更新は、安全安心の観点から積極的に取り組んでほしい	○記載あり	4(3)②既存施設の建替・改修に記載のとおり、老朽化した施設や現在のニーズに合わない施設については、建替、改修等を実施することとしております。 油山市民の森及び油山牧場が、さらに魅力ある施設となるよう、リニューアル事業に取り組んでまいります。
124	市民の森のアスレチックに滑車で滑降する遊具を作ってほしい。	○原案どおり	4(3)②既存施設の建替・改修に記載のとおり、市民の森のアスレチック等遊具類は更新することとしていますが、子供の賑わいを創出するため、事業者の創意工夫を活かした提案を求めた上で、遊具の更新を行うこととしています。
125	迷路やスタンプラリー等、子供向け施設を作ってほしい。		
126	施設が多く、どこがメインの場所か分かりづらい上、管理等維持コストがかさむ要因となっている。	○記載あり	4(3)②既存施設の建替・改修に記載のとおり、両施設の案内板、誘導サインの更新、サインのデザインを統一することとしております。 既存施設の再整備に際しては、わかりやすい施設となるよう努めてまいります。
127	園内のサインのデザインを統一するのは良い。油山の自然に違和感なく、落ち着いたものにしてほしい。		
128	自然観察センターは奥まった場所にあり、職員との交流も容易にできないため、どこをどう回ったら楽しめるのか、分かりづらく、来場者が減っているのではないかと。自然観察のポイント等の案内場所を来園者の導線上に配置し、ガイド職員がその横で案内できるように改善してほしい。		
129	市民の森管理事務所の前に案内板やクイズラリーの用紙が置いてあるが、それを使う人が少なく、もったいない。		
130	カブトムシの森に3棟ある飼育小屋跡の基礎、基礎ブロックを撤去してほしい。	◇その他	現地を確認して撤去等の対応を検討をします。
131	図面だけで、駐車場やテントサイト、道路の拡張を決定しないでほしい。貴重な動植物がいるため、専門家の意見も聞きながら開発してほしい。	◇その他	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。

番号	意見要旨	対応方針	対応
<b>(5)公募方法等</b>			
132	事業方式については、指定管理以外の手法も検討すべき。一部施設の民間への貸付などの手法も検討する必要がある。	○原案どおり	民間活力導入や一体運営による業務の効率化などの観点から、指定管理者制度で実施することとしたものです。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
133	事業の収支に関連する事項、リスク分担の考え方等の記載が少ない。方針を明確に明示してほしい。	◇その他	公募提案の前提となる具体的な条件等については、公募時に明記することとしております。
134	指定管理期間が10～20年を想定しているとしているが、他の施設と同様、5年間で指定管理の精神上、望ましいのではないかと。	○原案どおり	市の指定管理に関するガイドラインでは、指定管理期間は原則5年以内となっています。ただし、合理的な理由がある場合は、この限りではないとされています。 本事業は、リニューアルのコンセプトを実現するに資する事業の提案を事業者の負担で実施することを義務付けています。 事業者が投資額を回収できる相応の期間が必要であることから、今回の事業では、10年から20年程度の期間を設けることが適切と判断したものです。 事業者が提案しやすくなることで競争性が上がり、市民に喜ばれる費用対効果の高い施設となることで、制度本来の趣旨を達成することができると考えております。 具体の指定管理期間については、他の指定管理や他都市の事例なども踏まえ、引き続き検討してまいります。
135	「ネーミングライツ」を活用し、生物多様性、持続可能な開発のために油山の自然環境保護に振り向けてほしい。	◇その他	ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。
136	市で実施予定のインフラ施設整備は、事業者と意見交換をしながら進める方が、指定管理業務が円滑に開始できる上、民間事業者による施設のグレードアップに取り組みややすくなる。そのため、指定管理者の公募スケジュールと基盤、インフラ施設整備期間を並行して進めてほしい。	◇その他	ご意見については、公募要綱等を検討する際の参考とさせていただきます。
<b>5 その他 20件</b>			
137	長年利用者数が安定しており、利用状況に問題は無いと思う。		
138	利用されていない自然のままの場所は動植物にとって大切な場所である。		
139	有効活用できていないエリアとされている場所は、生物が暮らす静かな場所であり、都会のすぐ近くに貴重な生物が観察できる事を、福岡市の魅力の一つとしてアピールしてほしい。		
140	多様な植物や野鳥を楽しむことができる貴重な場所であり、オートキャンプ場等とは一線を画した市民が憩える場所にしてほしい。		
141	利用料金などをわかりやすく案内してほしい。		
142	日本の食糧自給率を上げるため、ゴルフ場を食糧基地にする。油山をその先がけとして整備することを提案する。		
143	油山市民の森の環境保全の観点から入山許容人数を検討し、入山者数を制限することを提案する。入山制限を担保するため、ダイナミックプライシングを導入し、入園料等を需要に合わせて変更する仕組みを取り入れる。		
144	駐車場にEVスタンドを設置してほしい。		
145	沼津市の「泊まれる公園 イン・ザ・パーク」を参考に魅力的なキャンプ場に再整備してほしい。		
146	清水公園(千葉県野田市)のようなフィールドアスレチックを作してほしい。		
147	職員や利用者間のコミュニケーションが楽しくできる場所となることを期待している。		
148	登山、トレラン、散歩など、それぞれの趣味を楽しむ人々の交流の場を期待する。		
149	油山で電動自転車での移動を普及するため、駐輪場の拡充や電動自転車の充電エリアの設置、自転車向けの案内板の設置、自転車通行空間ネットワーク整備計画との連携等の取組みをしてほしい。		
150	自然を楽しみに通っているが、実際の一番の楽しみは、自然の楽しみを共有してくれる人がいることである。来園者と職員がもっと親しめる仕組みを作してほしい。		
151	観察センターの職員は、知識豊富で素晴らしい人材が揃っている。もっと上手に前面に出したら、ファンが増えると思う。事業者が変更になっても、知識豊富方々には引き続き残って活動してほしい。		
152	自然観察会と野鳥観察会は、予約なしでも当日参加できるようにしてほしい。		
153	手ぶらで当日来ても、バーベキューやデイキャンプ等に参加できるようにしてほしい。		
154	トイレの改修は大変ありがたい。改修にあたっては、登山等利用者用に荷物を置けるベンチを設置してほしい。		
155	トイレは子供が怖がるので、水洗にしてほしい		
156	保安林の大切さを知るために、地下水を飲料可能にしてほしい。		